



SCHOOL GUIDE 2027



◇理数科

◇普通科



R8年度よりポロシャツ導入

SSH
Super Science High School

スーパーサイエンスハイスクール



茨城県立緑岡高等学校

緑岡高等学校は、「誠実」、「進取」、「協和」の校訓のもと、『文武不岐』の精神に基づく教育活動を推進し、高い知性とたくましい心をもって、社会に貢献する人材の育成を目指します。校章には、並行して直立する三枚の梅の若葉の中央に好文の花（梅花）が描かれていて、「学問を尊重し高い理想をかかげて若くたくましく前進してやまない緑高生」を象徴しています。学校の近くには、日本三名園の一つ「偕楽園」や徳川光圀が開削を命じた「笠原水源」があり、水と緑に恵まれた環境の中で、本校生は自治の精神を重んじながら時代の変化に呼応して、教科横断授業や体験的・探究的な学びに取り組んでいます。

一人一人の生徒が勉強や部活動、学校行事やSSH活動等に全力投球しているので、緑岡高校は活気に溢れています。800余名の緑高生が生み出す化学変化は、一人一人の生徒の成長を後押しし、可能性を広げてくれると考えています。



茨城県立緑岡高等学校グランドデザイン

「目指す学校像」と「令和8年度重点目標」

- 「目指す学校像」： 文武不岐の精神に基づく教育活動を推進し、学ぶ力と特別活動や探究活動を通して、社会に貢献する人材を育成する。
- 「令和8年度重点目標」： I 生徒の主体性を引き出すカリキュラム開発と授業改善
II 生徒の自己実現のための進路指導と進路選択の充実
III アントレプレナーシップに基づく自己指導力の向上
IV SSH事業、国際交流事業及び社会貢献活動の推進
V 働き方改革の実践及び、教職員の教育力の一層の向上

豊かな人間性

- ・探究活動の推進による豊かな心の涵養
- ・集団活動による人間関係形成能力の育成
- ・地域連携や国際交流活動による創造性の涵養

健康・体力

- ・授業や学校行事による健康の保持増進
- ・授業や特別活動等による体力の向上

校訓 誠実 進取 協和

目指す生徒の姿（緑高3S）

- ・「探究的態度」によって主体性をもって **したたかに** 学び続けられる人材
- ・「柔軟な発想」によって他者と調和できる **しなやかな心** をもった人材
- ・「進取の気象」をもって社会の発展と **しあわせ** の実現に貢献できる人材

資質・能力の育成

- ・SSH事業を柱とした探究的な学びによる論理的思考力の育成
- ・自ら問いを発し考えながら自走できる主体的な学習態度の育成
- ・職員との連携・協働による主体性や自ら学びに向かう力の育成
- ・教科横断的、文理融合的な学びによる自立化と創造力の育成
- ・社会や地域の課題を発見し、解決するための資質・能力の育成

何を学ぶか

○教育課程の編成

- ・生徒の主体性を引き出すカリキュラム開発
- ・普通科の多様性に応える、探究を基礎とした教育課程
- ・理数科の専門性を生かす、探究を核とした教育課程
- ・主体的な社会参画のための自治的活動を推進する教育課程

どのように学ぶか

○教育課程の実施

- ・確かな学力を身につけるための授業の工夫・改善
- ・正確な実態把握に基づく評価方法の工夫・改善
- ・課題発見・課題解決のための協働的学びの実践
- ・主体的・対話的で深い学びのためのICT活用

実施するために何が必要か （支援体制の充実、家庭との連携・協働）

- ・各学年及び校務分掌間の適切な情報共有

- ・連絡ツールを活用した家庭との緊密な連携

安心・安全を守る

- ・校内施設設備の点検と危険箇所の修繕
- ・登下校の安全確保と安全教育の充実
- ・不審者対策と防災・避難訓練の充実
- ・自他尊重の精神の涵養といじめ防止教育の充実

開かれた学校作り

- ・学校公開やHPによる積極的な情報発信
- ・学校説明会や学校訪問の積極的な受入れ
- ・地域社会や地域諸団体との積極的な連携
- ・学校評議員等外部関係者との積極的協働

学科案内

理系のエキスパートを育成する理数科、多様な進路実現を目指す普通科（※2年次より）

理数科

（1クラス）



科学者・研究者として 活躍する人材の育成

- 高度で専門的な「理数探究」の実施
- 実践的な英語のカリキュラム
- 豊富なプレゼンテーションの機会

普通科

（6クラス 文系・理系）



個々の特性に応じた 多彩な進路の実現

- 主体的・協働的に探究を進める「探究Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ」の実施
- 一人一人の進路希望に対応したカリキュラム

希望の進路を実現させるカリキュラム（※令和8年度在校生のもの）

		1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31	32	33	34	35
1年	共通	現代の国語	言語文化			歴史総合			公共		体育		保健	音楽Ⅰ 美術Ⅰ 書道Ⅰ	英語コミュニケーションⅠ			論理・表現Ⅰ		家庭基礎			★SS 数学					★SS 物理		★SS 生物		★探究Ⅰ	LHR			
	普通科文系	論理国語	古典探究			地理総合			日本史探究 世界史探究				数学Ⅱ		数学B	数学C	化学基礎	生物		体育		保健	音楽Ⅰ 美術Ⅰ 書道Ⅰ	英語コミュニケーションⅡ			論理・表現Ⅱ		情報Ⅰ		★探究Ⅱ	LHR				
2年	普通科理系	論理国語	古典探究			地理総合			数学Ⅱ				数学Ⅲ	数学B	数学C	物理生物			化学基礎		体育		保健	英語コミュニケーションⅡ			論理・表現Ⅱ		情報Ⅰ		★探究Ⅱ	LHR				
	理数科	論理国語	古典探究	地理総合	体育		保健	英語コミュニケーションⅡ			★サイエンスイングリッシュα				理数数学Ⅱ			理数数学特論		理数物理		理数化学			理数生物			情報Ⅰ		★探究Ⅱ	LHR					
3年	普通科文系	論理国語	古典探究			日本史探究 世界史探究				政治・経済		数学Ⅱ		数学B	数学C	化学基礎	生物		体育		英語コミュニケーションⅢ			論理・表現Ⅲ		★探究Ⅲ	LHR									
	普通科理系	論理国語	古典探究	地理探究			数学Ⅲ				数学B	数学C	物理生物		化学				体育		英語コミュニケーションⅢ			論理・表現Ⅲ		★探究Ⅲ	LHR									
	理数科	論理国語	古典探究	地理探究			体育			英語コミュニケーションⅢ			★サイエンスイングリッシュβ			理数数学Ⅱ			理数数学特論		理数化学			★理数物理特論 ★理数生物特論			★探究Ⅲ	LHR								
		1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31	32	33	34	35

★…学校設定科目

1年生、2年生の希望者はSS探究実習（1単位）を履修可能

生徒会長あいさつ

3年7組 西口 音々（友部中卒）

緑岡高等学校、通称「緑高」は、何事にも一生懸命取り組める高校です。勉強でも、部活動でも特別活動でも、皆さんのことをサポートしてくれる人たちがたくさんいます。熱心すぎる先生方。頼れる先輩。そして受験を共に乗り越えて入学してきた同級生。彼らとともに自らを磨き、成長していくことで、皆さんの将来は更に輝いていきます。このように「緑高」では、「文武不岐」の伝統精神が受け継がれ、青春を楽しむための環境が整っています。

皆さんも「緑高」で貴重な高校3年間を過ごしてみませんか？



社会の作り手としてイノベーションを創出 する、科学技術人材育成プログラムの開発

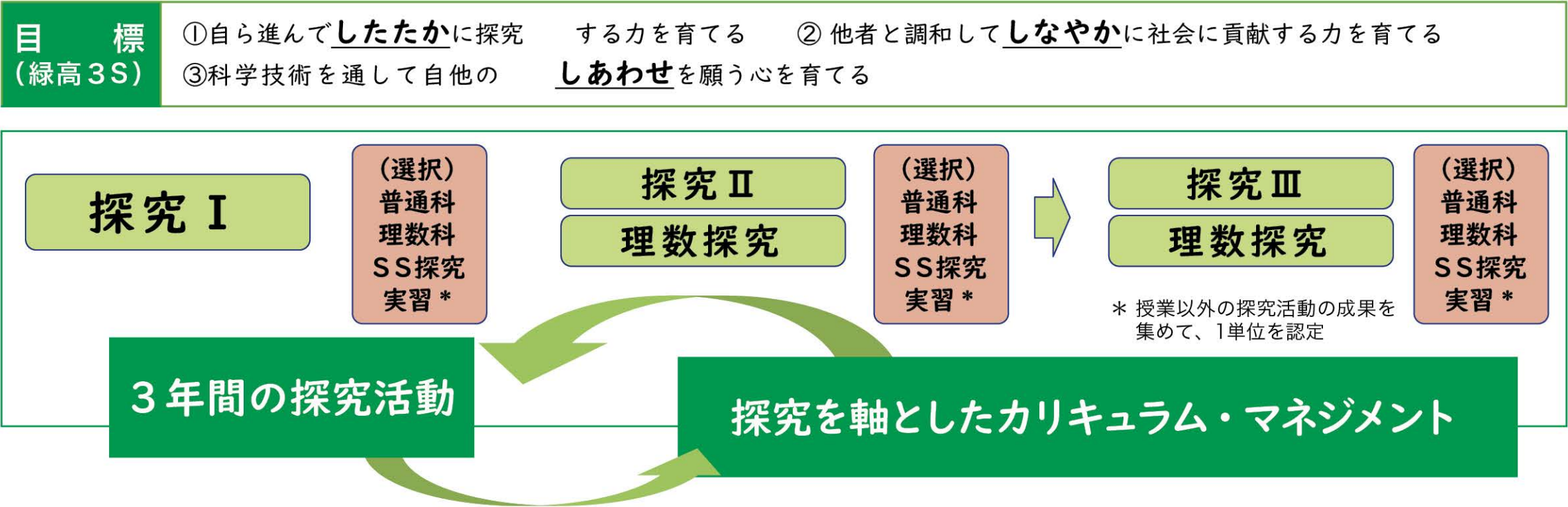
SSH 第三期

Super Science High school (2024年-2028年)

SSH (スーパーサイエンスハイスクール) とは

文部科学省では、将来の国際的な科学技術系人材を育成するため、先進的な理数教育を実施する高等学校等を「スーパーサイエンスハイスクール」として指定し、学習指導要領によらないカリキュラム開発・実践や課題研究の推進、観察・実験等を通じた体験的・問題解決的な学習等を支援しています。

また本校の SSH 活動は県内各種研究機関や民間企業と連携を取りながら理数科の課題研究や普通科の探究活動を進めています。



普通科のSSHの取り組み

理数科のSSHの取り組み

探究 I (普通・理数共通)

様々な科学的内容を通して、ディスカッション力、課題発見力、探究の手法・進め方等を修得することで“科学的素養”を培います。実習ではアプリ各種を実際に使用し、探究だけでなく授業や部活動での利用も支援します。

学んだことを活かして各種コンテストやビジネスコンテスト (IBARAKI ドリーム・パス等) への出品や発表を目指します。



▲探究手法を学ぶ (統計処理) ▲地域課題探究

探究 II・探究 III

「探究 I」の学習を踏まえ、研究課題を明確にして主体的・協働的に探究 (調査研究) を行い、得られた結果を根拠に基づいて考察し、最終的に結論を導き出す活動を通して、科学的素養の育成を図ります。人文科学、社会科学、自然科学、健康科学等幅広い分野について探究活動を行います。



▲探究手法を学ぶ (統計処理) ▲地域課題探究

理数科の特徴

- “理数科”として、また “SSHの主対象”として様々な事業に取り組みます。
 - “確かな専門性”や“国際性”を育成するため、学校設定教科「SSH」にSS系科目を多く開設しています。
- 2年生では、理科3科目 (物理・化学・生物) を履修します。
- 「理数数学Ⅱ」「理数数学特論」「理数物理」「理数化学」「理数生物」「理数生物特論」「理数物理特論」「サイエンスイングリッシュα・β」
- 難関理工系、医学系進学に向けたハイレベルな授業を展開しています。

理数探究

少人数の研究グループに分かれて、自分たちでテーマを決めて探究します。「探究 I」で培った科学的素養に基づいて、2年間に渡って研究を進めていきます。この理数探究では、大学生や大学院生によるチューター制を導入し、“確かな専門性”の育成を支援しています。

また、生徒たちは日本各地で開催される学会や発表会へ赴き、自分たちの研究成果を披露し、研究をブラッシュアップしコミュニケーション力を高めています。



SSH 生徒研究発表会で「ポスター発表賞」「生徒投票賞」ダブル獲得

(右) 東京大学 AEO 高校生研究員として1年間活動した「物理学習用 AR アプリ開発班」

海外研修

海外の大学や研究機関等での研修や交流を通して異文化を理解し、科学を接点に英語によるコミュニケーション能力を高めます。また、海外の文化や先端科学技術に触れることを通して、国際的な視野を養います。

(令和8年度は、ベトナムへの渡航を予定しています)



学校設定科目とクロスカリキュラム授業

教科・科目を横断的に学習したり、学際的な内容や発展的な内容を扱ったりする学校設定科目を第1～3学年にわたって設定しています。 (「SS数学」「SS物理」「SS生物」)

また文理融合の「総合知」を獲得できるよう、教科の垣根を越えたクロスカリキュラム授業の開発と実践に取り組んでいます。



▲クロスカリキュラム授業 「【数学×美術】折り紙 (幾何図形) の可能性を探る」

詳しくはHPに掲載しています



国公立大学 合格者	153名	現役 147名
・岩手大(獣医) (1名)	・金沢大(薬) (1名)	
・長崎大(薬) (1名)	・北海道大 (1名)	
・東北大 (1名)	・茨城大 (60名)	
・筑波大 (10名)	・埼玉大 (5名)	
・千葉大 (4名)	・東京学芸大 (4名)	
・東京外大 (2名)	・東京農工大 (1名)	
・横浜国立大 (1名)	・新潟大 (2名)	
・信州大 (6名)	・茨城県立医療大 (6名)	
・東京都立大 (6名)	・横浜市立大 (4名)	
	など (過年度含む)	

私立大学 合格者	502名	現役 441名
・早稲田大 (2名)	・慶応大 (2名)	
・上智大 (1名)	・東京理科大 (8名)	
・学習院大 (4名)	・明治大 (11名)	
・青山学院大 (5名)	・立教大 (8名)	
・中央大 (20名)	・法政大 (23名)	
・芝浦工業大 (17名)	・関西大 (1名)	
・関西学院大 (3名)	・立命館大 (4名)	
	など (過年度卒含む)	

走り続ける緑高OB



中川 修哉さん

IT 企業経営
(ミットディア株式会社 代表取締役)

私は 2014 年 3 月に本校を卒業しました。高校時代は電算部に所属し、プログラミングや電子工作など、ものづくりに夢中になっていました。

実は入学当初の成績はあまり良くなく、最初の試験ではビリから数番目でした。その結果にショックを受け、「このままではまずい」と思って勉強に真剣に取り組むようになりました。第一志望だった京都大学には届きませんでしたが、その努力の結果、慶應義塾大学に進学することができました。

高校時代は勉強だけでなく、好きなことにも思いきり取り組みました。学園祭では 3D ホログラムを投影する装置や太陽光発電システムなどを制作して展示していました。こうした挑戦を温かく見守り、支えてくださった先生方には感謝しています。

現在は IoT や AI の技術を活かしたクラウドサービスやライブ配信サービスなどの事業を運営しています。今の仕事の原点は、高校時代に好きなことに挑戦できた経験だと思います。

みなさんもぜひ、自分が面白いと思うことに全力で取り組んでください。その経験はきっと将来の力になります。



片岡 裕雄さん

AI 研究者
(産業技術総合研究所・オックスフォード大学)

高校時代で一番最初に思い出すことは、1 年生の秋に学年最下位 (252 人中 252 位) を取ったことです。どうやったら国語の偏差値 12 なんて取れるんでしょうか？この時点で浪人を覚悟しましたが、両親は「頑張ってその成績ならしょうがないんじゃない？」とあっけらかんと言ってくれました。

緑高の先生方のサポートもあり、2 年生で学習習慣を身につけ、3 年生の部活引退後に学習時間を 3 倍にしました。この経験が、結果的に人生の大きな財産になりました。これまで自分より圧倒的に優れた人々に出会ってきましたが、この時の経験から「必ず這い上がれる」という確信がありました。

高校卒業から約 20 年、現在は英国・オックスフォード大学で研究を教え、日本とヨーロッパの AI 分野を繋いでいます。高校生の頃は「PC が使えるエンジニアになりたい」と思っていたのですが、今は世界最前線の AI 研究に携わっています。

やりたいことは本気でやってください。未来の自分を決めつけず、突き抜けてください。今の成績も、肩書きも、能力も関係ありません。本気で挑む気持ちさえあれば、誰でも夢を追う資格があり、それが最高の人生を作る一歩になります。緑高はそれが実現できる場です。

卒業生からメッセージ

早稲田大学
スポーツ科学部

寺門 遼馬
(見川中卒)



緑岡高校は「勉強ばかりしている真面目な人が多い」という印象をよく持たれます。しかし実際は、勉強も部活動も恋愛も思う存分して、学校行事も全力で楽しんでいたりと「勉強ばかりでない人が多い」高校です。

私は、ほぼ毎日部活動に励みながら、課題やテストにも一生懸命に取り組む日々を送っていました。また文化祭やクラスマッチ、修学旅行など多くの学校行事を通して、一生の思い出を作ることができました。緑岡高校で過ごした 3 年間は私にとって間違いなく最高の高校生活でした。

どんな時でも重要なのは、「メリハリ」だと思います。一つ一つのこと気持ち切り替えて真摯に向き合えば皆さんの想像する最高の高校生活が送れると思います。

緑岡高校で出会える仲間と先生方と共に、ぜひ最高の高校生活を送ってください！

筑波大学
工学システム学類

川口 真澄
(笠間中卒)



緑岡高校は文武不岐の言葉通り、勉強と部活動のどちらかを諦めることなく両方に打ち込むことができます。私は受験勉強では志望校合格、部活動では県大会 1 位、全国大会出場という結果を残すことができました。部活動は必ずしも勉強に欠かせないというわけではなく、入試方法によっては部活動での頑張りを評価してくれる大学もあり、私は経験を生かして入試に臨むことができました。緑岡高校で出会った仲間たち、優しくサポートしてくれる先生方のおかげで、勉強も部活動も学校行事もすべてが充実した高校生活を送ることができました。

初めての受験勉強の人がほとんどで、不安でつらいことも多いかと思います。しかし、最後まで頑張りぬいたという経験は一生の自信につながります。皆さんも緑高でたくさんの思い出をつくりましょう。

東京学芸大学
教育学部 B 類

月沢 海翔
(久慈中卒)



緑岡高校は勉強・部活動・行事全てで楽しむことができる学校です。多くの人が「真面目」という印象を持っていますが、実際は関東大会やそれ以上の大会で結果を残したり、毎年開催される文化祭・クラスマッチ・緑歩会では、クラス一丸となって競い合ったりと入学してからしか味わえない楽しさがあります。もちろん先生方の学習面でのサポートも手厚く、志望校へ向け、日々励むことができます。

僕は三年間を通して最高の思い出を作ることができました。それは僕の人生をいい方向に導いてくれたと言っても過言ではないからです。

一生に一度しかない高校生活をぜひ緑岡高校で！！

東京都立大学
健康福祉学部 看護学科

加倉井 葉央
(千波中卒)



緑岡高校は、自分自身を成長させてくれる学校です。文化祭やクラスマッチ、緑歩会、修学旅行などの行事は、クラス一丸となって盛り上がり、友達との絆を深めることができ、とても思い出に残っています。部活動では切磋琢磨しながら、ともに泣き、笑い合える仲間にも出会いました。そして緑岡高校は自習室や進路室などの学習環境も整っており、それぞれが自分の目標に向けて集中して勉強ができます。受験期には、全力で応援しサポートしてくださる先生方が私の大きな支えとなり、また励まし合える友達や仲間がいる心強さも実感しました。こうした出会いと経験にあふれた緑岡高校で、皆さんも充実した高校生活を過ごしてみませんか。

茨城大学
学校教育教員養成課程 教科教育コース

富田 結衣
(青葉中卒)



私は緑岡高校で充実した学校生活を送ることができました。

クラスの雰囲気がとても明るいため、毎日学校に通うのが楽しかったです。受験期は、みんなが真剣に机に向かう姿が自分も頑張ろうというモチベーションになりました。また、仲間とともに練習を重ねた部活動やみんなで協力して作り上げた緑高祭はかけがえのない思い出です。

学習面ではたくさんの人に支えられました。私が無事志望校に合格できたのは、応援してくれた友達、普段の熱心な授業に加え、入試に向けて的確なアドバイスをくださった先生方のおかげです。

中学生の皆さん、緑岡高校は信頼できる仲間たちと部活や行事、進路に向けて切磋琢磨することができる学校です。ぜひ緑岡高校で楽しく有意義な学校生活を送りましょう！

東京海洋大学
海洋生命科学部

磯 ふみか
(大島中卒)



大学進学を考えているけど、自分の学びたいことがはっきりしないという人に、緑岡高校はぴったりの学校です。この学校のカリキュラムには多くの探究活動が組み込まれており、興味の有無に関わらず様々な学問に触れることができます。実際に私も理数探究を通して生物に興味を持ち、自分の勉強したい分野の方向性が定まりました。さらに、手厚くサポートしてくださる先生方や切磋琢磨する友人など、希望の進路を実現するための環境が整っています。

みなさんも、こんな素晴らしい環境で 3 年間で過ごしてみませんか。



EVENT CALENDAR

緑高生の1年

4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3
- 入学式 - 新入生歓迎会	- 体力テスト - 生徒総会	緑高祭	- 野球応援練習 - 野球応援 「理数探究・探究Ⅲ」発表会 - 夏期課外 - 学校説明会	夏期課外	- クラスマッチ - キャリア講演会	- 大学模擬授業 - 創立記念日(16日) - 緑歩会 - 修学旅行(2年普通科) - 海外研修(2年理数科)	緑岡高校海外短期留学プログラム(11月～3月予定)	英語による科学研究発表会	大学入学共通テスト事前指導	SSH成果発表会	- 卒業式予行 - 卒業式 - 合格者説明会

部活動

運動部

- ソフトテニス
- バレーボール
- 硬式テニス
- 剣道
- 水泳
- 陸上競技
- 卓球
- バドミントン
- バスケットボール
- 野球
- 弓道
- サッカー
- ハンドボール



ハンドボール部



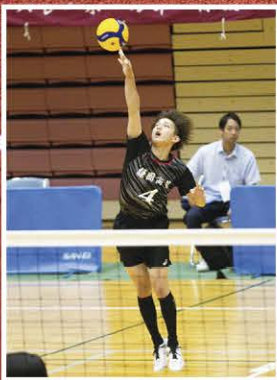
野球部



陸上部



バスケットボール部



バレーボール部



水泳部

全国大会

陸上競技部

- U20日本陸上競技選手権(静岡)
 ・女子400mH 出場……………(萩原美咲)
 令和7年度全国高等学校陸上競技大会(広島)
 ・女子400mH 決勝進出……………(萩原美咲)
 ・女子400m 出場……………(萩原美咲)
 ・男子400m 出場……………(宮本卓都)
 ・男子5000mW 出場……………(坂本一真)
 国民スポーツ大会(滋賀)
 ・女子300mH 出場……………(萩原美咲)
 ・女子4×400m 出場……………(萩原美咲)
 ・男子5000mW 出場……………(坂本一真)
 U20日本選抜競歩大会(神戸)
 ・男子10kmW 出場……………(坂本一真)
 ・男子10kmW 出場……………(嶋田基宏)

水泳部

- 国民スポーツ大会(滋賀)
 男子200m×4 フリー出場……………(川口真澄)

関東大会(運動部)

陸上競技部

- 関東高等学校陸上競技選手権大会
 ・女子400m……………5位(萩原美咲)
 ・女子400mH……………4位(萩原美咲)
 ・男子400m……………5位(宮本卓都)
 ・男子200m 出場……………(宮本卓都)
 ・女子5000mW 出場……………(青山寛奈)
 ・男子5000mW……………3位(坂本一真)
 ・男子800m……………8位(嶋澤優斗)
 ・男子1500m 出場……………(嶋澤優斗)
 関東高等学校選抜新人陸上競技選手権大会
 ・男子5000mW 出場……………(嶋田基宏)

水泳部

- 関東高校水泳競技大会
 ・男子100m 自由形・バタフライ 出場……………(川口真澄)
 ・男子100m・200m 背泳ぎ 出場……………(岩間優太郎)
 ・男子200m 平泳ぎ 出場……………(加藤 颯)
 ・男子200m・400m 個人メドレー 出場……………(佐藤志弥)
 ・男子400m・800m フリーリレー 出場……………(佐藤志弥 加藤 颯 岩間優太郎 川口真澄)
 (川口真澄 佐藤志弥 加藤 颯 岩間優太郎)
 ・男子400m メドレー リレー 出場……………(岩間優太郎 佐藤志弥 川口真澄 加藤 颯)

バレーボール部

- 令和7年度関東高校男女バレーボール大会
 ………………男子出場

硬式テニス部

- 令和7年度関東公立高等学校テニス選手権大会
 ………………女子団体出場

文化部

- 美術
- 歴史
- メディア芸
- 棋道
- 映画研究
- 地学
- 華道
- 科学研究
- 応援団
- 英語
- 軽音楽
- 吹奏楽
- 写真
- 生物
- JRC



軽音楽部



科学研究部



棋道部



吹奏楽部



映画研究部



JRC部



地学部

全国大会

棋道部

- ・令和7年度第49回全国高校囲碁選手権大会
 ………………(菅谷友香 阿部百花 小平千恵)
 ・令和7年度第49回全国高校囲碁選手権大会
 ………………(笹沼直輝)
 ・令和7年度第49回全国高等学校総合文化祭囲碁部門
 ………………(笹沼直輝 須藤大輝)

映画研究部

- ・第72回 NHK 杯全国高校放送コンテスト
 ・令和7年度全国高等学校総合文化祭
 (かがわ総文祭2025) ビデオメッセージ部門

メディア芸芸部

- ・第19回全国高校生短歌大会短歌甲子園2025
 ………………(井原舜生 三浦大空 萩谷直紀)

関東大会

棋道部

- ・令和7年度関東地区高校囲碁選手権大会
 男子団体……………(岸 皆斗 小松崎智大 河邊隼門)
 女子団体……………(菅谷友香 阿部百花 小平千恵)
 男子個人……………(岸 皆斗)
 女子個人……………(菅谷友香 阿部百花)

国際交流事業

異文化理解を深めると共に、英語の実践的コミュニケーション能力を高め、地域の課題解決に貢献できる人材の育成を目指します。



高大連携事業(マレーシアサインズ大学、茨城大学)

今年度も茨城大学の「マレーシア短期海外研修」と一部、合同で実施した。ベナン島では同じホテルに滞在し、各種アクティビティについても本校生と茨城大学生と一緒に取り組みました。また、マレーシアサインズ大学の教職員や学生バディが、ベナン島でのアクティビティに帯同してサポートをしてくれました。

生徒の感想

- ・このプログラムを通して、英語を用いたコミュニケーション能力の向上や先を見通した行動力、リーダーシップを掴むことができた。序盤は恥ずかしさや慣れない環境ということもあり発言をしない部分や黙っているところが多かったが、日が経つにつれ自分から発言をしてたくさんの人と関わることができた。自分にとっては未知の挑戦ではあったが、一緒に活動したバディさんや先生方、茨大生、チームメンバー、関わってくれたすべての人に感謝をしたい。
- ・同じアジアでも日本とイスラム教の国であるマレーシアとは文化が違うことがわかった。例えば、ラマダンや肌の露出の禁止などがあった。気をつけなければいけないことがたくさんあり、最初は慣れなかったが、互いの文化を尊重していくためにはとても大切なことだと感じた。また、英語の授業やバディとのコミュニケーションを通して、恥ずかしさを捨てて積極的に取り組むことができ、自分にとって大きな変化となった。

海外短期留学プログラム

- 2月中旬……………オンライン事前学習(マレーシアサインズ大学担当者によるオリエンテーション)
 3月7~17日……………マレーシア(ペナン)・シンガポール研修
 1日目 本校出発・出国(成田)、乗り継ぎ、ベナン島着、ホテルチェックイン
 2日目 荷物等整理・研修準備、滞在先等フィールドトリップ
 3日目 (午前) マレーシアサインズ大学：オープニングレセプション、English Class
 (午後) マレーシアサインズ大学：English Class、キャンパスツアー
 4日目 (午前) マレーシアサインズ大学：English Class
 (午後) SMK Bukit Jambul(現地中等学校)：キャンパスツアー、異文化交流
 5日目 (午前) SMK Guar Perahu(現地中等学校)：キャンパスツアー、異文化交流
 (午後) マレーシアサインズ大学：English Class
 6日目 (午前) マレーシアサインズ大学：USM School of Biological Scienceにて生物学体験
 (午後) マレーシアサインズ大学：English Class
 7日目 (午前) Peninsula College：キャンパスツアー、学習体験
 (午後) マレーシアサインズ大学：English Class、クロージングセレモニー
 8日目 ペナン島・ヘリテージ(歴史的建造物・文化遺産) ツアー
 (午前) Penang Hill (午後) Street Art、Queensbay Mall
 9日目 ペナン島・伝統文化・自然体験学習
 (午前) バティックファクトリー(バティック染め体験)
 (午後) エントピア(バタフライファーム)
 10日目 ペナン島・出発、シンガポール着
 (午後) マーライオン広場・マリナベイサンズ、富の泉、ガーデンズ・バイ・ザ・ベイ、チャイナタウン、シンガポール出国(チャンギ国際空港)
 11日目 (午前) 帰国(成田着)、本校帰着・解散

